

# 鹿行教育事務所だより 第10号

令和6年2月9日(金)



QRコードから鹿行教育事務所のホームページが見られます。

電話 0291-33-6134

FAX 0291-33-2447

E-mail [rokyo@pref.ibaraki.lg.jp](mailto:rokyo@pref.ibaraki.lg.jp)



## 令和5年度 教育課題に対応するための リーダー養成研修講座(第4日)



〈研究・実践 成果発表〉



〈修了証 授与〉

6月1日に開講した本講座も、7名の先生方の誠実で積極的な取組のもと、約8か月間に渡る研修期間を終えました。最終日となった第4日(1月26日)には、各先生方の研究・実践の成果発表が行われ、閉講式では、遠藤所長から一人一人の先生方への労いの言葉と共に、修了証が手渡されました。

開講当初は、研究テーマや実践の進め方に悩んでいた先生方でしたが、所属校の校長先生をはじめとした職員の皆さんからの支えを受け、自らが掲げた課題を一つ一つ解決され、閉講時には、自信と共に新たな課題を見据えた瞳が輝きを増していました。

大切な子供たちのために役立つように、学校の課題を改善できるように、そして、自らの改革を胸に研修に臨まれた未来のリーダーである7名の先生方に、心から敬意を表します。鹿行の教育の未来は、7名の先生方の瞳のように輝いています！

## 幼保小連携

「幼保小の架け橋プログラム」の実施に向けて

### ○「架け橋プログラム」の目指す方向性

5歳～小1の2年を「架け橋期」と位置づけ、自治体のリーダーシップのもと、カリキュラム開発会議等、体制を整え、架け橋期にふさわしいカリキュラムを作成・評価することで、教育の充実・改善を目指します。【参考資料】幼保小の架け橋プログラム実施に向けての手引き(初版)及び参考資料(初版)～文部科学省～

### ○幼保小接続の改善ポイント

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月	2年
実施単位	施設単位	地域単位

カリキュラム作成 体制作り

### ○市町村の保幼小接続の状況

「令和5年度保幼小の連携・接続の現状に関する調査」において鹿行管内では、連携・接続の進捗状況の目安となる0～4のステップ(令和7年度までに県全体で「ステップ4」を目指す)の中で「ステップ3」が3市、「ステップ4」が2市となっています。

## 第11回いばらきっ子郷土検定県大会

2月3日(土)第11回いばらきっ子郷土検定県大会が、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールにおいて開催されました。

中学2年生5名でチームを編成した45校の代表校が、早押しクイズなどの対抗戦に臨みました。鹿行教育事務所管内からは、11月に実施した市町村大会を勝ち抜いた5校が出場しました。

銚田市立銚田北中学校、行方市立北浦中学校、神栖市立波崎第一中学校は予選ブロックで惜しくも敗れましたが、潮来市立潮来第二中学校は準決勝まで進み優秀賞。鹿嶋市立鹿野中学校は、準決勝を勝ち抜き、代表3校で争う決勝戦で、第3位と健闘しました。



鹿嶋市立鹿野中学校  
10年ぶり2回目出場



潮来市立潮来第二中学校  
2年ぶり3回目出場



神栖市立波崎第一中学校  
2年連続6回目出場



行方市立北浦中学校  
2年連続4回目出場



銚田市立銚田北中学校  
2年連続4回目出場